

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number :

2002-133078

(43)Date of publication of application : 10.05.2002

---

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

---

(21)Application number : 2000-319784 (71)Applicant : GET ONE:KK

(22)Date of filing : 19.10.2000 (72)Inventor : YAMAMOTO MIKIO

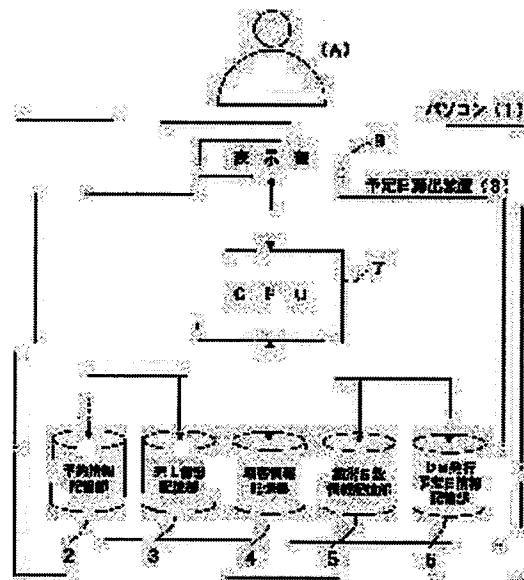
---

## (54) SCHEDULED DATE CALCULATING DEVICE, COMPUTER PROVIDED WITH THE SAME AND SERVER COMPUTER

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a scheduled date calculating device improving the repeat rate of a customer, a computer provided with the device and a server computer.

**SOLUTION:** Information on the coming customer is inputted and inputted information on the customer is stored. The issue scheduled date of a direct mail is calculated for each of performing items of cutting, permanent and coloring based on the coming date of the customer. The DM issue scheduled date is deleted or changed in accordance with the number of the intervals of the DM issue scheduled dates and it is stored. A part of or whole information on the customer is outputted in accordance with the stored DM issue schedule date and the direct mail is issued to the respective customers by referring to a part of or whole information on the customer which corresponds to the DM issue schedule date.





(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-133078

(P2002-133078A)

(43)公開日 平成14年5月10日 (2002.5.10)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

G 0 6 F 17/60

識別記号

1 7 2

F I

テマコード(参考)

3 2 6

G 0 6 F 17/60

1 7 2 5 B 0 4 9

3 2 6

審査請求 有 請求項の数6 O L (全19頁)

(21)出願番号

特願2000-319784(P2000-319784)

(22)出願日

平成12年10月19日 (2000.10.19)

(71)出願人 500439191

株式会社ゲット・ワン

大阪府大阪市中央区島之内1丁目3番11-  
901号

(72)発明者 山本 幹雄

大阪府大阪市中央区島之内1丁目3番11-  
901号 株式会社ゲット・ワン内

(74)代理人 100071168

弁理士 清水 久義 (外3名)

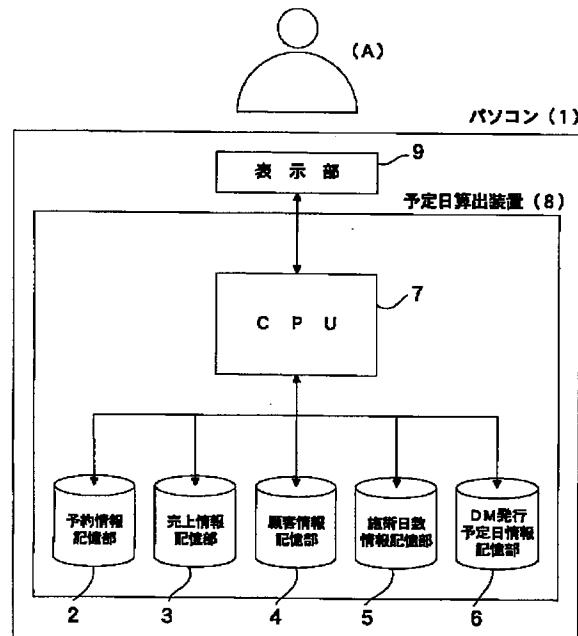
Fターム(参考) 5B049 BB00 FF03

(54)【発明の名称】 予定日算出装置および該装置を備えたコンピュータ並びにサーバーコンピュータ

(57)【要約】

【課題】 顧客のリピート率を向上することができる予定日算出装置および該装置を備えたコンピュータ並びにサーバーコンピュータの提供を課題とする。

【解決手段】 来店した顧客に関する情報を入力させ、その入力された顧客に関する情報を記憶する。また、顧客の来店日に基づいて、ダイレクトメールの発行予定日をカット、パーマ、カラーの施術項目別に算出し、さらに各DM発行予定日の間隔日数に応じてDM発行予定日を削除または変更して記憶する。顧客に関する情報の一部または全部を、記憶されたDM発行予定日に対応して出力し、そのDM発行予定日に対応した顧客に関する情報の一部または全部を参照して、各顧客に対してダイレクトメールを発行する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 来店した顧客に関する情報を入力させる顧客情報入力制御手段と、該顧客情報入力制御手段により入力を制御された顧客に関する情報を記憶する顧客情報記憶手段と、前記顧客の来店日に基づいて、次回以降の来店予定日、または該来店予定日に対応するダイレクトメールの発行予定日あるいは発送予定日を算出する予定日算出手段と、該予定日算出手段により算出された前記顧客の予定日を記憶する予定日記憶手段と、前記顧客情報記憶手段に記憶された顧客に関する情報の一部または全部を、前記予定日記憶手段に記憶された顧客の予定日に対応させて出力させる顧客情報出力制御手段として機能させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項2】 前記予定日算出手段は、一の顧客に対して所定の項目別に予定日を算出する請求項1に記載の予定日算出装置。

【請求項3】 一の顧客において所定の期間内に項目別の前記予定日が複数存在する場合に、各予定日の間隔日数に応じて一ないし複数の予定日を削除または変更する予定日切替手段が設けられている請求項2に記載の予定日算出装置。

【請求項4】 請求項1に記載の予定日算出装置を備え、該予定日算出装置の顧客情報入力制御手段によって顧客に関する情報を入力させられるマンマシン型の入力手段と、予定日算出装置の顧客情報出力制御手段によって顧客に関する情報の一部または全部を前記予定日に対応させて出力させられる表示手段とを備えたことを特徴とするコンピュータ。

【請求項5】 請求項1に記載の予定日算出装置を備え、一ないし複数の端末装置にネットワークを介して接続されたサーバーコンピュータであって、

前記予定日算出装置の顧客情報入力制御手段によって前記端末装置に顧客に関する情報を入力させるとともに、前記予定日算出装置の顧客情報出力制御手段によって前記端末装置に顧客に関する情報の一部または全部を前記予定日に対応させて出力させることを特徴とするサーバーコンピュータ。

【請求項6】 コンピュータによって顧客の予定日を算出し、顧客に関する情報の一部または全部を前記予定日に対応させて出力させるプログラムを記録した記憶媒体であって、

コンピュータを、来店した顧客に関する情報を入力させる顧客情報入力制御手段と、該顧客情報入力制御手段により入力を制御された顧客に関する情報を記憶する顧客情報記憶手段と、前記顧客の来店日に基づいて、次回以降の来店予定日、または該来店予定日に対応するダイレクトメール発行予定日あるいは発送予定日を算出する予定日算出手段と、該予定日算出手段により算出された前記顧客の予定日を記憶する予定日記憶手段と、前記顧客情報記憶手段に記憶された顧客に関する情報の一部または全部を、前記予定日記憶手段に記憶された顧客の予定日に対応させて出力させる

定日算出手段と、該予定日算出手段により算出された前記顧客の予定日を記憶する予定日記憶手段と、前記顧客情報記憶手段に記憶された顧客に関する情報の一部または全部を、前記予定日記憶手段に記憶された顧客の予定日に対応させて出力させる顧客情報出力制御手段として機能させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野及び発明が解決しようとする課題】この発明は、顧客の予定日を算出する予定日算出装置、および該予定日算出装置を備えたコンピュータならびにサーバーコンピュータに関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、来店した顧客が再び来店する割合である顧客のリピート率を向上させるために、顧客に対してダイレクトメールを送付することが行われていた。特に、美容業界などでは、女性の顧客は一つの店舗になかなか定着せず、複数の店舗を利用する傾向があるため、そのような顧客に複数の店舗のうち自店舗を利用してもらう戦略の一つとしてダイレクトメールの重要性は高い。このダイレクトメールは、通常、店舗名、店舗の所在地、地図、あるいはカット、パーマ、カラーなどの料金のほか、サービス日、ダイレクトメールを持参した顧客への特典、様々な企画などが掲載されており、顧客が当該店舗に興味を引くようになされている。

【0003】しかしながら、上述のダイレクトメールの送付は、顧客全員に対して店舗側が任意に定めた日に一斉に行うものであるため、例えば、顧客が来店した直後にダイレクトメールが届いたり、あるいは顧客の来店予定日よりもかなり前にダイレクトメールが届いたりするなど、各顧客の来店予定日の直前にダイレクトメールが届くことが少なく、顧客のリピート率を向上することが難しいという問題があった。

【0004】この発明は、上述の問題に鑑みてなされたものであって、顧客のリピート率を向上することができる予定日算出装置および該装置を備えたコンピュータ並びにサーバーコンピュータの提供を課題とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題は、来店した顧客に関する情報を入力させる顧客情報入力制御手段と、該顧客情報入力制御手段により入力を制御された顧客に関する情報を記憶する顧客情報記憶手段と、前記顧客の来店日に基づいて、次回以降の来店予定日、または該来店予定日に対応するダイレクトメールの発行予定日あるいは発送予定日を算出する予定日算出手段と、該予定日算出手段により算出された前記顧客の予定日を記憶する予定日記憶手段と、前記顧客情報記憶手段に記憶された顧客に関する情報の一部または全部を、前記予定日記憶手段に記憶された顧客の予定日に対応させて出力させる

顧客情報出力制御手段と、を備えたことを特徴とする予定日算出装置によって解決される。

【0006】これによれば、顧客の次回以降の来店予定日、またはダイレクトメールの発行予定日または送付予定日を算出し、顧客に関する情報の一部または全部を前記予定日に対応させて出力させるので、その予定日に対応した顧客に関する情報の一部または全部を参照して、各顧客に対して前記予定日に従ってダイレクトメールを発行・送付すれば、顧客の来店直前にダイレクトメールが届き、顧客のリピート率を向上することができる。

【0007】また、前記予定日算出手段は、一の顧客に対して所定の項目別に予定日を算出する場合、各顧客に対して所定の項目別の予定日に従ってダイレクトメールを発行・送付すれば、顧客の各項目を目的とした来店前にダイレクトメールが届き、顧客のリピート率をより確実に向上することができる。

【0008】また、一の顧客において所定の期間内に項目別の前記予定日が複数存在する場合に、各予定日の間隔日数に応じて一ないし複数の予定日を削除または変更する予定日切替手段が設けられている場合、ダイレクトメールの送付労力を軽減することができるとともに、所定の期間内に続けてダイレクトメールが届くことが防止され、顧客の不快感を軽減することができる。

【0009】また、上記課題は、請求項1に記載の予定日算出装置を備え、該予定日算出装置の顧客情報入力制御手段によって顧客に関する情報を入力させられるマンマシン型の入力手段と、予定日算出装置の顧客情報出力制御手段によって顧客に関する情報の一部または全部を前記予定日に対応させて出力させられる表示手段とを備えたことを特徴とするコンピュータによって解決される。

【0010】これによれば、コンピュータが予定日算出装置を内蔵した構成となされているので、このコンピュータを美容店などの店舗に設置するだけで、前記予定日に対応した顧客に関する情報の一部または全部を参照して、各顧客に対して前記予定日に従ってダイレクトメールを発行・送付することができる。

【0011】また、上記課題は、請求項1に記載の予定日算出装置を備え、一ないし複数の端末装置にネットワークを介して接続されたサーバーコンピュータであって、前記予定日算出装置の顧客情報入力制御手段によって前記端末装置に顧客に関する情報を入力させるとともに、前記予定日算出装置の顧客情報出力制御手段によって前記端末装置に顧客に関する情報の一部または全部を前記予定日に対応させて出力させることを特徴とするサーバーコンピュータによって解決される。

【0012】これによれば、サーバーコンピュータが予定日算出装置を内蔵され、該サーバーコンピュータに端末装置がネットワークを介して接続される構成なので、この端末装置を美容店などの店舗に設置すれば、端末装

置からサーバーコンピュータにアクセスするだけで、前記予定日に対応した顧客に関する情報の一部または全部を参照して、各顧客に対して前記予定日に従ってダイレクトメールを発行・送付することができる。また、サーバーコンピュータから店舗の汎用コンピュータに対して、顧客に関する情報の一部または全部を前記予定日に対応させて出力するほかに、各店舗に有益な各種情報をタイムリーに出力することができる。さらに、サーバーコンピュータを管理しているシステム運用業者が、各店舗のダイレクトメールの送付を代行するものとすれば、各店舗の労力を一層軽減することができる。

【0013】また、コンピュータによって顧客の予定日を算出し、顧客に関する情報の一部または全部を前記予定日に対応させて出力させるプログラムを記録した記憶媒体であって、コンピュータを、来店した顧客に関する情報を入力させる顧客情報入力制御手段と、該顧客情報入力制御手段により入力を制御された顧客に関する情報を記憶する顧客情報記憶手段と、前記顧客の来店日にに基づいて、次回以降の来店予定日、または該来店予定日に対応するダイレクトメール発行予定日あるいは発送予定日を算出する予定日算出手段と、該予定日算出手段により算出された前記顧客の予定日を記憶する予定日記憶手段と、前記顧客情報記憶手段に記憶された顧客に関する情報の一部または全部を、前記予定日記憶手段に記憶された顧客の予定日に対応させて出力させる顧客情報出力制御手段として機能させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体によって解決される。

【0014】これによれば、この記録媒体に記録されたプログラムをコンピュータにインストールすることによって、前記予定日に対応した顧客に関する情報の一部または全部を出力させる予定日算出装置としての機能を当該コンピュータに持たせることができる。

### 【0015】

【発明の実施の形態】次に、この発明に係る予定日算出装置を汎用コンピュータ（以下、パソコンという）に適用したものについて、図面を参照しつつ説明する。なお、この実施形態では、ダイレクトメールをDMと表記する。

【0016】図1において、（A）は美容店の店長、技術者、あるいはアシスタントなどの店員で、顧客の予約情報や、顧客に関する情報（以下、顧客情報という）をパソコン（1）に入力するものとなされている。

【0017】このパソコン（1）は、予約情報記憶部（2）、売上情報記憶部（3）、顧客情報記憶部（4）、施術日数情報記憶部（5）、DM発行予定日情報記憶部（6）、およびそれらを統括的に制御するCPU（7）からなる予定日算出装置（8）を内蔵し、表示部（9）が視認可能に一体に設けられている。

【0018】前記表示部（9）は、CRT（ブラウン

管) またはLCD(液晶)からなるもので、後述の各画面を表示するとともに、各画面の所定位置を指でタッチすることにより画面を変更したり、あるいは画面下に模擬表示されたキーボード(図示略)等を用いて各情報を入力するものとなされている。なお、表示部(9)は、後述の各画面を表示するのみで、画面の変更や各情報の入力はパソコン外部で接続されたキーボードやマウスにより行うものであってもよい。

【0019】前記予約情報記憶部(2)は、予約情報ファイルを記憶するものである。予約情報ファイルは、施術を予約した各顧客の氏名、予約日、予約時間、施術項目、施術担当者、施術時間、顧客状態(来店待ち状態、受付状態、施術開始状態、施術終了状態、会計済状態)からなるファイルで、図3に示す予約情報入力画面において入力される。なお、この実施形態では、施術項目は、カット、パーマ、カラーリング、ストレートパーマ、カラー(毛染め)、エステ、セット、その他1、その他2の8項目であるが、それ以上またはそれ以下の施術項目であってもよい。

【0020】前記売上情報記憶部(3)は、売上情報ファイルを記憶するものである。この売上情報ファイルは、施術がなされた各顧客の施術代金、商品代金、チケット金額、値引き金額、小計、商品消費税、施術消費税、合計、現金、クレジット金額、その他、売り掛け金額、お預かり金額、おつりからなるファイルで、図9に示す会計画面において入力される。

【0021】前記顧客情報記憶部(4)は、顧客情報ファイルを記憶するものである。この顧客情報ファイルは、施術を行った各顧客の会員番号(お客様番号)、フリガナ、名前、主担当、地区番号(後述)、郵便番号、住所(住所1は番地まで、住所2はマンション名・室番号が入力される)、メール(アドレス)、電話番号1(自宅)、電話番号2(携帯)、電話番号3(会社等)、生年月日、年代、性別、血液型、お仕事、ご家族、お友達、メモ、来店動機、顧客区分(紹介の有無等)、次回来店予定日、初回来店日、最終来店日、来店回数、カット範囲日数、パーマ範囲日数、カラー範囲日数からなるファイルで、主に図11に示す顧客情報入力画面において入力される。なお、最終来店日(以下、来店日という)は、コンピュータ内蔵の日付機能により特定されて自動的に記憶されてもよいし、別途入力されて記憶されてもよい。また、次回来店予定日は、後述のCPU(7)の予定日算出機能により算出されたあとに自動的に記憶される。

【0022】前記施術日数情報記憶部(5)は、施術日数情報ファイルを記憶するものである。この施術日数情報ファイルは、8つの施術項目のうちカット、パーマ、カラー(毛染)の標準日数のほか、DM発行日数、DM間隔日数、カラーDM間隔日数、来店後未発行日数から構成される。標準日数とは、顧客が来店してから次に来

店するまでの周期日数をいい、初期設定では、カットは30日、パーマは60日、カラーは30日にそれぞれ設定される。DM発行日数とは、DMを発行してから来店予定日までの日数をいい、初期設定では7日に設定されている。DM間隔日数とは、カットDM発行日とパーマDM発行日との必要間隔日数のことといい、初期設定では20日に設定されている。カラー用DM間隔日数とは、カラーDM発行日とカットDM発行日またはパーマDM発行日との必要間隔日数をいい、初期設定では10日に設定されている。来店後未発行日数とは、顧客の今回の来店日を基準としてDMを発行しない日数をいい、29日に固定されている。来店後未発行日数以外の各日数は、図12に示す施術日数情報入力画面において、任意の設定値に変更することができる。なお、来店後未発行日数は、この実施形態では29日に固定されているが、他の日数と同様に任意の設定値に変更可能としてもよい。

【0023】前記DM発行予定日情報記憶部(6)は、DM発行予定日情報ファイルを記憶するものである。このDM発行予定日情報ファイルは、前記CPU(7)の後述の予定日算出機能、予定日削除機能、および予定日切替機能により特定された各顧客の次回のカット用DM発行予定日、パーマ用DM発行予定日、カラー用DM発行予定日から構成される。

【0024】前記CPU(7)は、予約情報入力制御機能、受付状態変更機能、施術開始状態変更制御機能、施術終了状態変更機能、売上情報入力制御機能、顧客情報入力制御機能、施術日数情報入力制御機能、予定日算出機能、予定日削除機能、予定日切替機能、顧客情報出力制御機能を備える。

【0025】予約情報入力機能は、美容店の店員(A)の所定の操作により、表示部(9)に図2および図3に示す予約情報画面および予約情報入力画面を表示し、美容店の店員(A)に顧客の予約情報の入力を促し、入力された顧客の予約情報を該顧客の予約情報ファイルとして予約情報記憶部(2)に記憶せしめる機能である。

【0026】予約情報の入力方法について具体的に説明すると、まず、美容室の店員(A)が電話等により顧客から氏名、予約日時、施術内容を聞いたあと、所定の操作により図2に示す予約情報画面を表示部(9)に表示させる。そして、該予約情報画面において、顧客の予約時間に該当する時間帯の予約追加ボタン(11)を指でタッチすると、前記予約情報画面に重なる態様で図3に示す予約情報入力画面(画面では「新規のご予約」)が表示部(9)に表示される。

【0027】そして、該予約情報入力画面において、顧客の氏名、予約時間、施術担当者、施術時間をそれぞれ入力するとともに、「施術メニュー」欄の該当する施術アイコンを指でタッチしたあと、OKボタン(12)を指でタッチすると、それらの予約情報が該顧客の予約情

報ファイルとして予約情報記憶部（2）に記憶される。なお、予約情報入力画面における顧客の氏名の入力にあたっては、その顧客が新規の場合は新規ボタン（13）を指でタッチすると、「お名前」欄に仮の会員番号が自動的に入力される一方、顧客の場合は検索ボタン（14）を指でタッチし、顧客情報記憶部（4）からその顧客の顧客情報ファイルを検索して、「お名前」欄にその顧客の氏名の全部または一部を入力するとよい。なお、予約情報の入力を途中でキャンセルしたい場合は、キャンセルボタン（15）を指でタッチすればよい。

【0028】こうして顧客の予約情報の入力が完了すると、図4に示すように、予約情報画面において、予約した顧客の氏名（新規の場合は仮の会員番号）、施術アイコン（16a）および来店待ち状態アイコン（16b）からなる予約表示部（16）が施術担当者の予約時間帯に表示されるとともに、画面上の「店内状況」欄の来店待ち状態アイコン（17）横に人数が加算表示される。

【0029】受付状態変更機能は、美容店の店員（A）の所定の操作により、表示部（9）に図5に示す予約情報詳細画面（図面では「ご予約のお客様について」）を表示し、美容店の店員（A）に来店待ち状態から受付状態への変更を促し、顧客の受付状態を予約情報記憶部（2）に記憶せしめる機能である。

【0030】来店待ち状態から受付状態への変更方法について具体的に説明すると、予約した顧客が来店した際、美容店の店員（A）が所定の操作により、図4に示す予約情報画面を表示部（9）に表示させる。そして、該予約情報画面において、来店した顧客の予約表示部（16）を指でタッチすると、前記予約情報画面に重なる態様で図5に示す予約情報詳細画面が表示部（9）に表示される。そして、該予約情報詳細画面において、顧客の預かり物がある場合は預かり物アイコン（22）を指でタッチし、さらに予約時間や施術担当者に変更がある場合はそれらを変更入力した上で、受付状態アイコン（24）を指でタッチしたあと、OKボタン（27）を指でタッチすると、受付状態を含む変更情報が予約情報記憶部（2）に更新記憶される。

【0031】こうして来店待ち状態から受付状態への変更が完了すると、図6に示すように、予約情報画面には、顧客の予約表示部（16）の来店待ち状態アイコン（16b）が受付状態アイコン（16c）に変更表示されるとともに、画面上の「店内状況」枠の来店待ち状態アイコン（17）横の人数が減算表示され、かつ受付状態アイコン（18）横に人数が加算表示される。

【0032】施術開始状態変更機能は、美容店の店員（A）の所定の操作により、表示部（9）に図5に示す予約情報詳細画面を表示し、美容店の店員（A）に受付状態から施術開始状態への変更を促し、変更された施術開始状態を予約情報記憶部（2）に記憶せしめる機能である。

【0033】受付状態から施術開始状態への変更方法について具体的に説明すると、受付を完了した顧客の施術を開始する際、美容店の店員（A）が所定の操作により図6に示す予約情報画面を表示部（9）に表示させる。そして、該予約情報画面において、施術を開始する顧客の予約表示部（16）を指でタッチすると、前記予約情報画面に重なる態様で図5に示す予約情報詳細画面が表示部（9）に表示される。そして、該予約情報詳細画面において、施術開始状態アイコン（25）を指でタッチしたあと、OKボタン（27）を指でタッチすると、施術開始状態が予約情報記憶部（2）に記憶される。

【0034】こうして受付状態から施術開始状態への変更が完了すると、図7に示すように、予約情報画面には、顧客の予約表示部（16）に受付状態アイコン（16c）が施術開始状態アイコン（16d）に変更表示されるとともに、画面上の「店内状況」枠の受付状態アイコン（18）横の人数が減算表示され、かつ施術開始状態アイコン（19）の人数が加算表示される。

【0035】施術終了状態変更機能は、美容店の店員（A）の所定の操作により、表示部（9）に図5に示す予約情報詳細画面を表示し、美容店の店員（A）に施術開始状態から施術終了状態への変更を促し、変更された施術終了状態を予約情報記憶部（2）に記憶せしめる機能である。

【0036】施術開始状態から施術終了状態への変更方法について具体的に説明すると、受付を完了した顧客の施術を終了した際、美容店の店員（A）が所定の操作により図7に示す予約情報画面を表示部（9）に表示させる。そして、該予約情報画面において、施術を終了した顧客の予約表示部（16）を指でタッチすると、前記予約情報画面に重なる態様で図5に示す予約情報詳細画面が表示部（9）に表示される。そして、該予約情報詳細画面において、施術終了状態アイコン（26）を指でタッチしたあと、OKボタン（27）を指でタッチすると、施術終了状態が予約情報記憶部（2）に記憶される。

【0037】こうして施術開始状態から施術終了状態への変更が完了すると、図8に示すように、予約情報画面には、顧客の予約表示部（16）の施術開始状態アイコン（16d）が施術終了状態アイコン（16e）に変更表示されるとともに、画面上の「店内状況」枠の施術開始状態アイコン（19）横の人数が減算表示され、かつ施術終了状態アイコン（20）横の人数が加算表示される。

【0038】売上情報入力制御機能は、美容店の店員（A）の所定の操作により、表示部（9）に図9に示す会計画面を表示し、美容店の店員（A）に顧客の売上情報の入力を促し、入力された売上情報を顧客の売上情報ファイルとして売上情報記憶部（3）に記憶せしめる機能である。この売上情報は、業務が終了したあとに行わ

れる日計処理に用いられる。

【003-9】売上情報の入力方法について具体的に説明すると、顧客の施術が終了して会計を行う際、美容店の店員（A）が上述と同様の操作により図5に示す予約情報詳細画面を表示部（9）に表示させる。そして、該予約情報詳細画面において、会計ボタン（28）を指でタッチすると、表示部（9）に図9に示す会計画面が表示される。

【004-0】そして、該会計画面において、「本日のメニュー」欄で顧客の施術内容を確認し、施術内容に変更・追加があれば施術一覧ボタン（29）を指でタッチすることにより施術内容の一覧を表示せしめて、施術内容を変更・追加する。また、シャンプー、リンス、その他美容商品のお買上げがある場合は、商品一覧ボタン

（30）を指でタッチすることにより商品の一覧を表示せしめて、お買上げ商品を入力する。すると、画面右の各会計欄にはそれぞれの売上代金が自動的に表示されるので、美容店の店員（A）が顧客から売上代金の支払いを受けたあと、OKボタン（31）を指でタッチすれば、各売上情報が売上情報ファイルとして売上情報記憶部（3）に記憶される。また、図10に示すように、予約情報画面では、該顧客の予約表示部（16）が消去されるとともに、画面上の「店内状況」枠の施術終了状態アイコン（20）横の人数が減算表示され、かつ会計済状態アイコン（21）横の人数が加算表示される。

【004-1】顧客情報入力制御機能は、美容店の店員（A）の所定の操作により、表示部（9）に図11に示す顧客情報入力画面を表示し、美容店の店員（A）に顧\*

$$\text{来店予定日} = \text{標準日数} + \text{来店日} \dots$$

$$\text{DM発行予定日} = \text{標準日数} + \text{来店日} - \text{DM発行設定日数}$$

$$= \text{来店予定日} - \text{DM発行設定日数} \dots [2]$$

予定日削除機能は、今回の来店日と、前回の来店日に基づいて既に算出されたDM発行予定日との間隔日数が来店後未発行日数（初期設定30日）の場合は、前回の来店日に基づいて既に算出された来店予定日およびDM発行予定日を削除する機能である。このように前回の来店日に基づいて既に算出された来店予定日およびDM発行予定日を削除するのは、前回の来店日に基づいて算出された来店予定日より前に来店した顧客に対して、該来店予定日に基づいてダイレクトメールを送付することは無駄であり、場合によっては顧客に不快感を与えるからである。

【004-5】予定日切替機能は、上述の予定日算出機能により算出されたカット、パーマ、カラーの各DM発行予定日（あるいは各来店予定日）の間隔日数に基づいて、カットDM発行予定日を削除したり、あるいはカラーDM発行予定日をカットDM発行予定日またはパーマDM発行予定日に変更する機能である。

【004-6】例えば、DM間隔日数が初期設定の20日、カラーDM間隔日数が初期設定の10日の場合にお

\* 顧客の顧客情報の入力を促し、入力された顧客情報を顧客情報ファイルとして顧客情報記憶部（4）に記憶せしめる機能である。顧客情報については、来店した顧客に対して所定のカルテに各顧客情報を記入してもらい、そのカルテに基づいて美容店の店員（A）が顧客情報を入力するとよい。

【004-2】施術日数情報入力制御機能は、美容店の店員（A）の所定の操作により、表示部（9）に図12に示す施術日数情報入力画面を表示し、美容店の店員

10 （A）に施術日数情報の入力を促し、入力された施術日数情報を施術日数情報ファイルとして施術日数情報記憶部（5）に記憶せしめる機能である。美容店の店員（A）が入力しない場合は、施術日数情報は上述した初期設定値となる。

【004-3】予定日算出機能は、顧客情報記憶部（4）に記憶されている顧客の来店日に基づいて、各顧客の来店予定日、さらにはDM発行予定日を所定の施術項目別に算出する機能である。

【004-4】この実施形態では、施術を行ったその日のうちに、8つの施術のうちカット、パーマ、カラーのいずれかの施術を行った顧客について、下式 [1] [2] の演算を行うことにより、カット、パーマ、カラーいずれかの次回の来店予定日およびDM発行予定日を算出する。例えば、カットの施術を行った顧客について、来店日が9/18、標準カット日数が初期設定の30日、DM発行設定日数が初期設定の7日の場合、原則として、来店予定日は10/18となり、DM発行予定日は10/11となる。

[1]

$$= \text{来店予定日} - \text{DM発行設定日数} \dots [2]$$

いて、カットDM発行予定日とパーマDM発行予定日の間隔日数が20日以下のときは、カットDM発行予定日が削除され、パーマDM発行予定日のみにパーマDMが発行される。また、カラーDM発行予定日とカットDM発行予定日またはパーマDM発行予定日との間隔日数が10日以下のときは、カラーDM発行予定日がカットDM発行予定日またはパーマDM発行予定日に変更され、カラーDMとカットDMまたはパーマDMとが同日に発行される。

【004-7】このようにパーマDM発行予定日をカットDM発行予定日に優先させるのは、通常、パーマを行うときは必ずカットを行うことから、パーマDMに重複してカットDMを発行する必要がないからである。また、カラーDM発行予定日をカットDM発行予定日またはパーマDM発行予定日と同一にするのは、通常、カラーを行うときはカットまたはパーマも行うことから、カラーDMをカットDMまたはパーマDMに重複して送付するのが効果的だからである。なお、カットDM発行予定日、パーマDM発行予定日、カラーDM発行予定日の切

替関係の具体例を図13～図15に示す（DM発行日数、DM間隔日数、カラーDM間隔日数はそれぞれ初期値である）。

【0048】こうして特定された各顧客のカット、パーマ、カラーのDM発行予定日は、各顧客に対応するようDM発行予定日情報ファイルとしてDM発行予定日情報記憶部（6）に記憶される。また、それらDM発行予定日に対応する来店予定日は、各顧客の顧客情報の一つとして顧客情報記憶部（4）に記憶される。

【0049】顧客情報出力制御機能は、美容店の店員（A）の所定の操作により、表示部（9）に図16に示す顧客情報画面（画面では「DM発行者一覧」）を表示させる機能である。この顧客情報画面は、各DM発行予定日ごとに表示され、DM発行予定日に対応した顧客情報の一部を一覧表として表示する。顧客情報の一覧表は、DM発行予定日に対応する各顧客の会員番号、氏名、電話番号、施術担当者名、DM種類（パーマDM、カットDM、カラーDMなど）から構成され、顧客情報記憶部（4）に記憶されている顧客情報と、DM発行予定日情報記憶部（6）に記憶されているDM発行予定日とに基づいて作成される。なお、顧客情報の一覧表は、上記以外の顧客情報を含むものであってもよいし、上記以外の顧客情報から構成されるものであってもよい。

【0050】画面右の「発行チェック」ボタンは、特別な事情により顧客にDMを送付しない場合などのときにチェックをはずすためボタンである。また、「DM内容」は、DMに掲載する担当者のメッセージを入力するところである。また、他のDM発行予定日の顧客情報画面を表示させたい場合は、「発行日」欄のスクロールボタン（下向三角印）を指でタッチすれば、他のDM発行予定日が表示されるので、そこから表示させたいDM発行予定日を指でタッチすることにより該DM発行予定日の顧客情報画面を表示させることができる。

【0051】画面下の一覧印刷ボタン（32）は、顧客情報画面に表示された顧客情報の一覧表を印刷するためのボタンである。また、印刷ボタン（33）は、画面に表示された各顧客に応じたDM（カットDM、パーマDM、カラーDM）を印刷するためのボタンである。これにより、美容店の店員（A）は、DM発行予定日に対応した顧客情報の一覧表を参照して、前記DM発行予定日に従って各顧客に応じたDMを発行し、該DMを該当する顧客に送付すれば、顧客の来店直前にDMが届き、顧客のリピート率を向上することができる。

【0052】次に図1に示すパソコン（1）の動作について図17のフローチャートを用いて説明する。

【0053】まず、美容店の店員（A）が、電話等により顧客から氏名、予約日時、希望施術を聞き、所定の操作により表示部（9）に図3に示す予約情報入力画面を表示させたあと、該予約情報入力画面において、顧客の氏名、予約時間、施術担当者、施術時間をそれぞれ入力

し、「施術メニュー」欄の該当する施術アイコンを指でタッチすると、入力された予約情報は顧客の予約情報ファイルとして予約情報記憶部（2）に記憶される（S1）。このとき、予約情報画面では、施術担当者の予約時間帯に予約した顧客の氏名、施術アイコン、来店待ち状態アイコンが表示され、かつ画面上の「店内状況」欄の来店待ち状態アイコン横に人数が加算表示される。

【0054】そして、予約した顧客が来店した際、美容店の店員（A）が、所定の操作により表示部（9）に図5に示す予約情報詳細画面を表示させたあと、該予約情報詳細画面において、顧客の預かり物が有る場合は預かり物アイコン（22）を指でタッチし、さらに予約時間や施術担当者に変更がある場合はそれらを変更入力した上で、受付状態アイコン（24）を指でタッチすると、受付状態を含む変更予約情報が予約情報記憶部（2）に更新記憶される（S2）。このとき、予約情報画面は、図6に示すように、顧客の予約表示部（16）の来店待ち状態アイコン（16b）が受付状態アイコン（16c）に変更されるとともに、画面上の「店内状況」欄の来店待ち状態アイコン（17）横の人数が減算表示され、かつ受付状態アイコン（18）横の人数が加算表示される。

【0055】そして、受付を完了した顧客の施術を開始する際、美容店の店員（A）が、所定の操作により表示部（9）に図5に示す予約情報詳細画面を表示させたあと、該予約情報詳細画面において、施術開始状態アイコン（25）を指でタッチすると、施術開始状態が予約情報記憶部（2）に記憶される（S3）。このとき、予約情報画面は、図7に示すように、顧客の予約表示部（16）の受付状態アイコン（16c）が施術開始状態アイコン（16d）に変更されるとともに、画面上の「店内状況」欄の受付状態アイコン（18）横の人数が減算表示され、かつ施術開始状態アイコン（19）横の人数が加算表示される。

【0056】そして、顧客の施術を終了した際、美容店の店員（A）が、所定の操作により表示部（9）に図5に示す予約情報詳細画面を表示させたあと、該予約情報詳細画面において、施術終了状態アイコン（26）を指でタッチすると、施術終了状態が予約情報記憶部（2）に記憶される（S4）。このとき、予約情報画面は、図8に示すように、顧客の予約表示部（16）の施術開始状態アイコン（16d）が施術終了状態アイコン（16e）に変更されるとともに、画面上の「店内状況」欄の施術開始状態アイコン（19）横の人数が減算表示され、かつ施術終了状態アイコン（20）横の人数が加算表示される。

【0057】そして、顧客の施術に対する会計を行う際、美容店の店員（A）が、所定の操作により表示部（9）に図5に示す予約情報詳細画面を表示させたあと、該予約情報詳細画面において、会計ボタン（28）

を指でタッチすると、図9に示す会計画面が表示される。そして、該会計画面において、施術内容、商品内容、売上代金を変更・追加・確認したあと、OKボタン(31)を指でタッチすると、それら売上情報が売上情報ファイルとして売上情報記憶部(3)に記憶される(S5)。このとき、予約情報画面は、図10に示すように、顧客の予約表示部(16)が消去されるとともに、画面上の「店内状況」枠の施術終了状態アイコン(20)横の人数が減算表示され、かつ会計済状態アイコン(21)の人数が加算表示される。

【0058】その後、美容店の業務が終了して日計処理を行う際、顧客が新規の場合は、美容店の店員(A)が、所定の操作により表示部(9)に図11に示す顧客情報入力画面を表示させたあと、該顧客情報入力画面において、新規顧客に記入したもらった所定のカルテに基づいて顧客情報を入力すると、該顧客情報が顧客情報ファイルとして顧客情報記憶部(4)に記憶される(S6)。

【0059】そして、パソコンは、上述の予定日算出機能、予定日削除機能および予定日切替機能を実行することにより、顧客の次回の来店予定日およびDM発行予定日を特定し、来店予定日を顧客の顧客情報の一つとして顧客情報記憶部(4)に記憶せしめるとともに、DM発行予定日を顧客に対応するようにDM発行予定日情報記憶部(6)に記憶せしめる(S7)。

【0060】あとは、美容店の店員(A)が所定の操作を行うことにより、図16に示す顧客情報画面を表示部(9)に表示しさせる(S9)。

【0061】このように、顧客の来店日にに基づいて次回以降の来店予定日およびDM発行予定日を算出し、顧客情報の一覧表を前記DM発行予定日に対応させて出力させるので、そのDM発行予定日に対応した顧客情報の一覧表を参照して、前記DM発行予定日に従って各顧客に応じたDMを発行し、該DMを該当する顧客に送付すれば、顧客の来店直前にDMが届き、顧客のリピート率を向上することができる。

【0062】また、各顧客に対してカット、パーマ、カラーの施術項目別のDM発行予定日に従ってDMを発行・送付するので、顧客の各施術項目を目的とした来店前にDMが届き、顧客のリピート率をより確実に向上することができる。

【0063】さらに、一の顧客において所定の期間内に施術項目別のDM発行予定日が複数存在する場合に、各DM発行予定日の間隔日数に応じて一ないし複数のDM発行予定日を削除または変更する予定日切替機能が設けられているので、DMの送付労力を軽減することができるとともに、所定の期間内に統けてDMが顧客に届くことが防止され、顧客の不快感を軽減することができる。

【0064】なお、この実施形態では、顧客の次回の来店予定日およびDM発行予定日を算出するものとした

が、それらと同様の方法で次回以降の来店予定日およびDM発行予定日を算出してもよい。

【0065】また、上述で算出した来店予定日に若干の修正を加えてもよい。例えば、日曜日に来店する傾向のある顧客については、上述で算出された来店予定日に最も近い日曜日に来店予定日を修正するというように、顧客の来店頻度が高い曜日に併せて来店予定日を修正してもよい。

【0066】また、顧客情報の一覧表をDM発行予定日10に対応させて出力するものとしたが、来店予定日またはDM送付予定日に対応させてもよい。

【0067】また、各記憶部を別々に構成するものとしたが、各記憶部のすべてまたはいくつかを組み合わせて一の記憶部を構成するものとしてもよい。

【0068】また、受付を開始してから施術を開始するまでの顧客の待ち時間が所定値を超えている場合、表示部(9)にそれらの顧客をリストアップして、お詫びのDMを発行・送付したり、あるいは表示部(9)に顧客の待ち時間が所定値を越えている旨を表示し、店員20(A)に対して顧客へのお詫びを促すものとしてもよい。これによれば、待ち時間が長かった顧客に対して、顧客の不快感や不信感を早く取り除くことができる。なお、上述の待ち時間は、受付状態アイコン(24)を指でタッチしてから施術開始状態アイコン(26)を指でタッチするまでの時間をCPU(7)により算出して、その算出した時間を待ち時間とすればよい。

【0069】また、汎用コンピュータに予定日算出装置を内蔵させる構成としたが、図18に示すように、サーバーコンピュータ(11)に予定日算出装置を内蔵させる構成とし、該サーバーコンピュータ(11)に各店舗の端末装置(12)をネットワークを介して接続し、各店舗の店員(A n)が該端末装置(12)から上記各情報の入出力を行うものとしてもよい。

【0070】また、コンピュータは、各顧客の来店予定日、またはDM発行予定日あるいは送付日を算出し、顧客情報の一部または全部を前記予定日に対応させて出力させることを、コンピュータ内にあらかじめ記憶されたプログラムによって行うものとしたが、コンピュータとは別体の記録媒体に記録されたプログラムによって行うものとしてもよい。

【0071】

【発明の効果】請求項1に係る発明によれば、顧客の次回以降の来店予定日、またはダイレクトメールの発行予定日または送付予定日を算出し、顧客に関する情報の一部または全部を前記予定日に対応させて出力するので、その予定日に対応した顧客に関する情報の一部または全部を参照して、各顧客に対して前記予定日に従ってダイレクトメールを発行・送付すれば、顧客の来店直前にダイレクトメールが届き、顧客のリピート率を向上することができる。

【0072】請求項2に係る発明によれば、各顧客に対して所定の項目別の予定日に従ってダイレクトメールを発行・送付すれば、顧客の各項目を目的とした来店前にダイレクトメールが届き、顧客のリピート率をより確実に向上することができる。

【0073】請求項3に係る発明によれば、ダイレクトメールの送付労力を軽減することができるとともに、所定の期間内に続けてダイレクトメールが届くことが防止され、顧客の不快感を軽減することができる。

【0074】請求項4に係る発明によれば、コンピュータが予定日算出装置を内蔵した構成となされているので、このコンピュータを美容店などの店舗に設置するだけで、前記予定日に対応した顧客に関する情報の一部または全部を参照して、各顧客に対して前記予定日に従ってダイレクトメールを発行・送付することができる。

【0075】請求項5に係る発明によれば、サーバーコンピュータが予定日算出装置を内蔵され、該サーバーコンピュータに端末装置がネットワークを介して接続される構成なので、この端末装置を美容店などの店舗に設置すれば、端末装置からサーバーコンピュータにアクセスするだけで、前記予定日に対応した顧客に関する情報の一部または全部を参照して、各顧客に対して前記予定日に従ってダイレクトメールを発行・送付することができる。また、サーバーコンピュータから店舗の汎用コンピュータに対して、顧客に関する情報の一部または全部を前記予定日に対応させて出力するほかに、各店舗に有益な各種情報をタイムリーに出力することができる。さらに、サーバーコンピュータを管理しているシステム運用業者が、各店舗のダイレクトメールの送付を代行するものとすれば、各店舗の労力を一層軽減することができる。

【0076】請求項6に係る発明によれば、この記録媒体に記録されたプログラムをコンピュータにインストールすることによって、前記予定日に対応した顧客に関する情報の一部または全部を出力させる予定日算出装置としての機能を当該コンピュータに持たせることができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施形態に係る予定日算出装置を内蔵したパソコンの概略構成図である。

【図2】予約情報画面を示す図である。

【図3】予約入力画面を示す図である。

【図4】予約情報画面（来店待ち状態）を示す図である。

【図5】予約情報詳細画面を示す図である。

【図6】予約情報画面（受付状態）を示す図である。

【図7】予約情報画面（施術開始状態）を示す図である。

【図8】予約情報画面（施術終了状態）を示す図である。

【図9】会計画面を示す図である。

【図10】予約情報画面（会計済状態）を示す図である。

【図11】顧客情報入力画面を示す図である。

【図12】施術日数情報入力画面を示す図である。

【図13】カットDM発行予定日、パーマDM発行予定日、カラーDM発行予定日の切替関係を示す第1の図である。

【図14】カットDM発行予定日、パーマDM発行予定日、カラーDM発行予定日の切替関係を示す第2の図である。

【図15】カットDM発行予定日、パーマDM発行予定日、カラーDM発行予定日の切替関係を示す第3の図である。

【図16】顧客情報画面を示す図である。

【図17】このパソコンの動作を示すフローチャート図である。

【図18】この発明の他の実施形態に係る予定算出装置を内蔵したサーバーコンピュータの概略構成図である。

#### 30 【符号の説明】

1・・・パソコン

2・・・予約情報記憶部

3・・・売上情報記憶部

4・・・顧客情報記憶部

5・・・施術日数情報記憶部

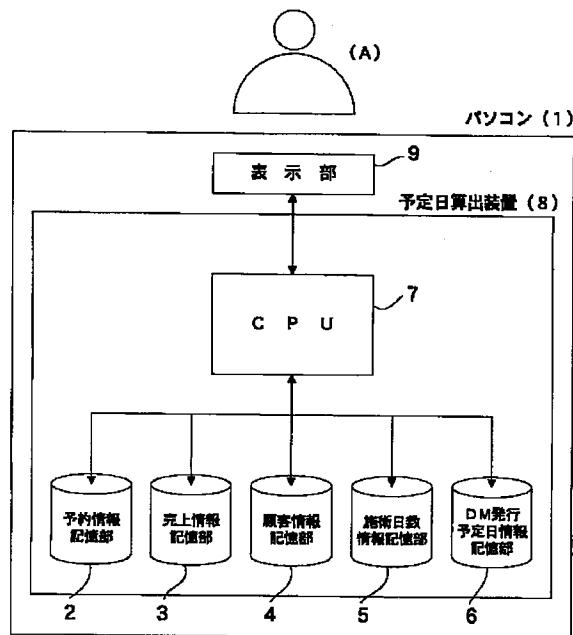
6・・・DM発行予定日情報記憶部

7・・・CPU

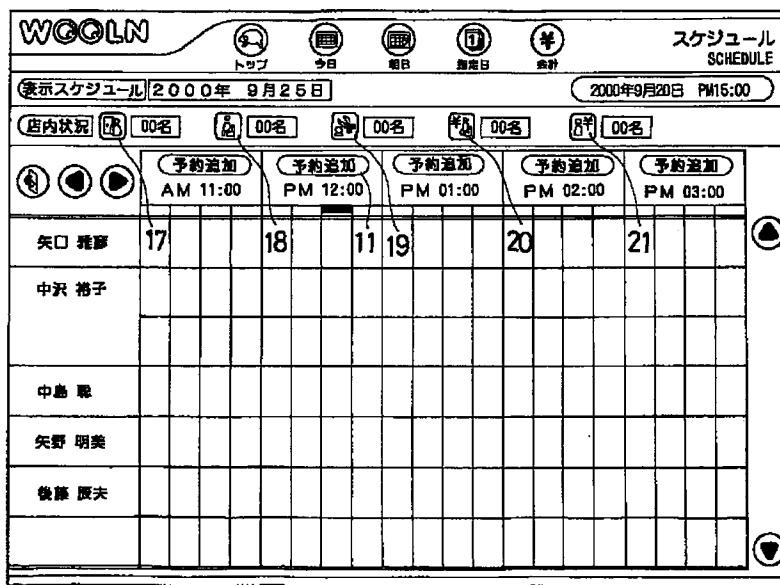
8・・・予定日算出装置

9・・・表示部

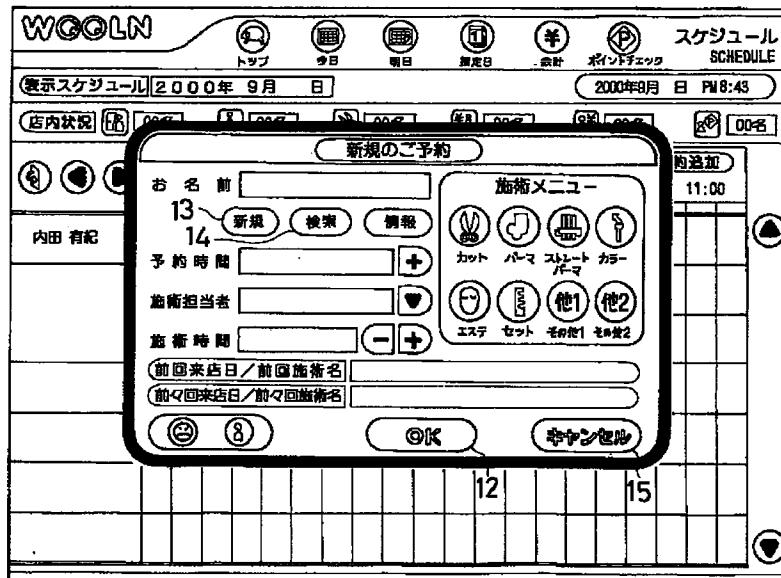
【図1】



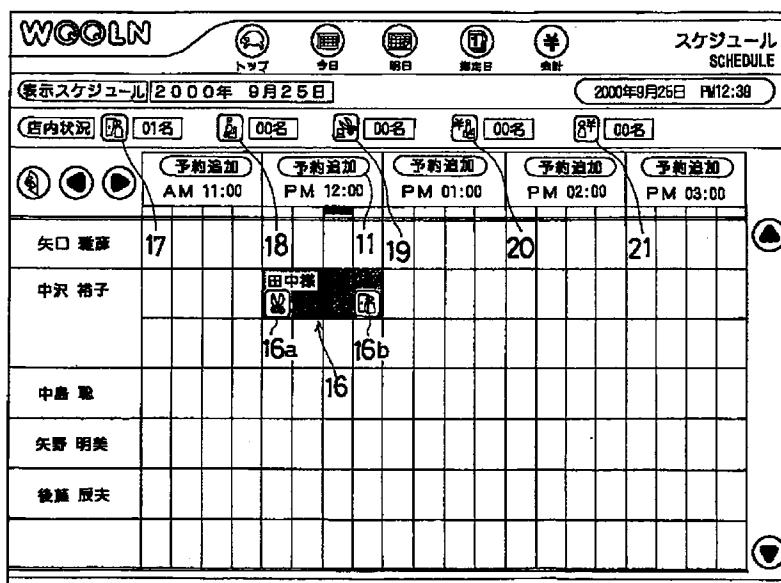
【図2】



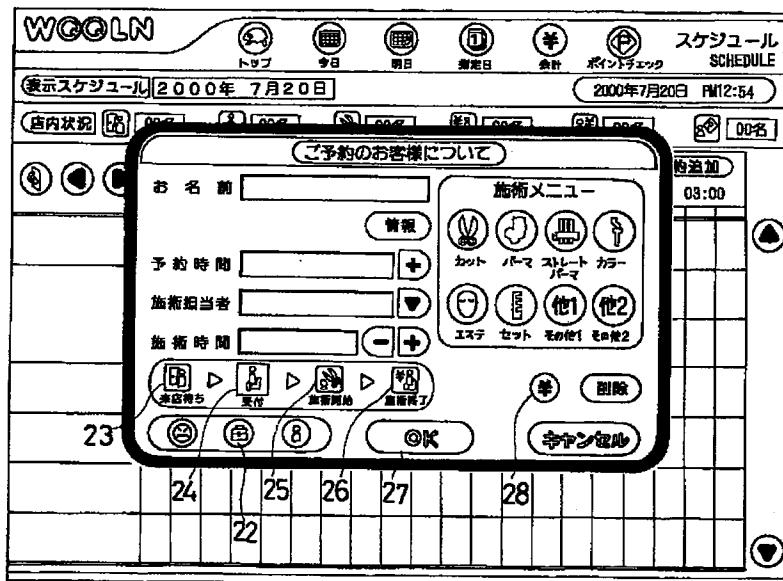
【図3】



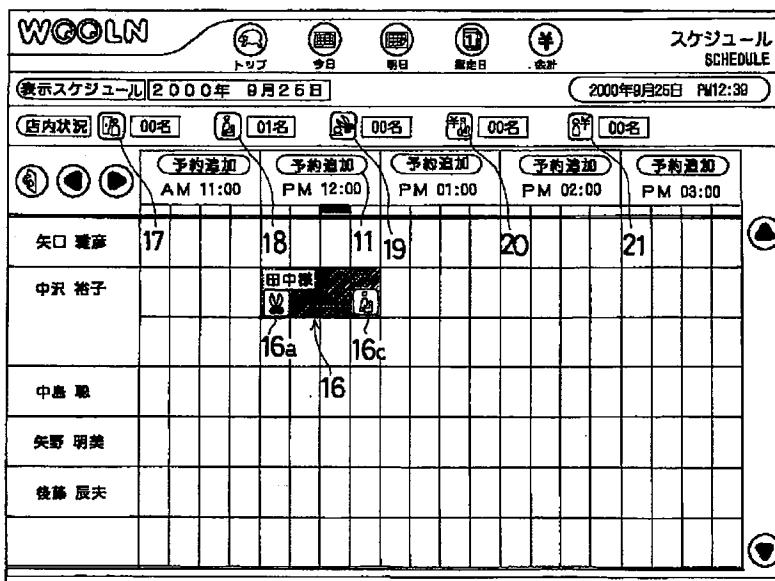
【図4】



【図5】



【図6】





【図9】

Wooln

予定表に残る 本日の着用済み

レジ担当 [ ] 2000年8月25日 PM12:41

お客様番号	電話番号
お名前	[ ] 新規 検索
主担当	[ ] 新規区分 リピート
前回来店日	[ ] 次回来店予定日

本日のメニュー 29 / 旗指一覧 旗指選択

[ ]	[ ]
[ ]	[ ]
[ ]	[ ]

お買上商品 30 / 商品一覧 商品削除

[ ]	[ ]
[ ]	[ ]
[ ]	[ ]

31

お会計算出	会計履歴
施術合計	¥0
商品合計	¥0
チケット金額	¥0
着引き金額	¥0
小計	¥0
商品消費税	¥0
施術消費税	¥0
合計	¥0
現金	¥0
クレジット金額	¥0
その他	¥0
売り掛け金額	¥0
お預かり	¥0
おつり	¥0
両替	売掛残
サロン入出金	[ ]

[OK] [キャンセル]

【図10】

Wooln

スケジュール SCHEDULE

表示スケジュール 2000年 9月25日 2000年9月25日 PM12:39

店内状況	[ ]	00名	[ ]	01名						
[ ]	[ ]	予約追加								
		AM 11:00		PM 12:00		PM 01:00		PM 02:00		PM 03:00

矢口 麻衣	17	18	11	19	20	21
中沢 拙子						
中島 葉						
矢野 明美						
後藤 康夫						

【図11】

WGOLN

お客様情報  
CUSTOMER

2000年8月25日 PM12:44

顧客番号	モード	参照
フリガナ		
お名前		
担当		
<input type="button" value="S"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="D"/>		
<b>詳細情報</b> 来店順序 顧客区分 次回来店予定日 初回来店日 最終来店日 来店回数		
カット範囲日数 ハーマ範囲日数 カラー範囲日数		
<b>顧客情報</b> 地区名 郵便番号 住所1 住所2 メール 電話番号1 電話番号2 電話番号3		
生年月日 年代 性別 <input checked="" type="checkbox"/> 血液型 お仕事 ご家族 お友達 X モ		
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>		

【図12】

WGOLN

スケジュール条件設定 (DM)  
SCHEDULE CONDITION

2000年8月26日 午後12時34分

標準カット日数	30
標準/ハーマ日数	80
標準カラー日数	30
DM発行日数	7
DM間隔日数	30
カラー-DM間隔日数	10

【図13】

	施術名	何日後	DM	説明
1	カット	7	カット	DM間隔以内 (7+20) に他の周期がない。
	来) カット	来+30	カット	カットで未店した場合、全てのカット DM を削除し、来店日より 30 日後にカット DM、さらに 30 日後にもカット DM をセットする。来店日から 30 日以内にバーマ DM がある場合は、来店日から 30 日後に日付を変更する。
	来) バーマ	来+60	バーマ	バーマで未店した場合、全てのバーマ DM を削除し、来店日より 60 日後にバーマ DM、さらに 60 日後にもバーマ DM をセットする。来店日から 30 日以内にカット DM がある場合は、カット DM 発行日を来店日から 30 日後に日付を変更する。
	来) カラー	来+30	カラー	カラーで未店した場合、全てのカラー DM を削除し、来店日より 30 日後にカラー DM、さらに 30 日後にもカラー DM をセットする。来店日から 30 日以内にカット/バーマ DM がある場合は、カット DM、バーマ DM の発行日を来店日から 30 日後に日付を変更する。
2	バーマ	7	バーマ	DM間隔以内 (7+20) に他の周期がない。
	来) バーマ	来+60	バーマ	バーマで未店した場合、全てのバーマ DM を削除し、来店日より 60 日後にバーマ DM、さらに 60 日後にもバーマ DM をセットする。来店日から 30 日以内にカット DM がある場合は、来店日から 30 日後に日付を変更する。
	来) カット	来+30	カット	カットで未店した場合、全てのカット DM を削除し、来店日より 30 日後にカット DM、さらに 30 日後にもカット DM をセットする。来店日から 30 日以内にバーマ DM がある場合は、来店日から 30 日後に日付を変更する。
	来) カラー	来+30	カラー	カラーで未店した場合、全てのカラー DM を削除し、来店日より 30 日後にカラー DM、さらに 30 日後にもカラー DM をセットする。来店日から 30 日以内にカット/バーマ DM がある場合は、来店日から 30 日後に日付を変更する。
3	カラー	7	カラー	カット DM 間隔以内 (7+20) に他の周期がない。
	来) カラー	来+30	カラー	カラーで未店した場合、全てのカラー DM を削除し、来店日より 30 日後にカラー DM、さらに 30 日後にもカラー DM をセットする。来店日から 30 日以内にカット/バーマ DM がある場合は、来店日から 30 日後に日付を変更する。
	来) カット	来+30	カット	カットで未店した場合、全てのカット DM を削除し、来店日より 30 日後にカット DM、さらに 30 日後にもカット DM をセットする。来店日から 30 日以内にバーマ DM がある場合は、来店日から 30 日後に日付を変更する。
	来) バーマ	来+60	バーマ	バーマで未店した場合、全てのバーマ DM を削除し、来店日より 60 日後にバーマ DM、さらに 60 日後にもバーマ DM をセットする。来店日から 30 日以内にカット DM がある場合は、来店日から 30 日後に日付を変更する。
4	カット バーマ	7	削除 バーマ	カットとバーマが同日発行の場合はバーマを優先する。
5	カット バーマ	7 20	削除 バーマ	カットとバーマの間隔が 13 日で、DM 間隔内 (20) なので、13 日後にバーマ DM を発行する。

【図14】

6	バーマ カット	7 20	バーマ 削除	バーマとカットの間隔が13日で、DM間隔内(20)なので、バーマDMを発行する。
7	カット カラー	7 7	削除 カット+カラー	カットとカラーが同日発行の場合は、カットDMにカラーを加え、カット+カラーDMを発行する。
8	カット カラー	7 15	削除 カット+カラー	カットとカラーの間隔が8日で、DM間隔内、カラーDM間隔内なので、8日後にカット+カラーDMを発行する。
9	カット カラー	7 25	カット カラー	カットとカラーの間隔が18日で、DM間隔内、カットDM間隔外なので、カットDMを発行する。18日後にカットDMを発行する。
10	カラー カット	7 13	カット+カラー 削除	カットとカラーの間隔が6日で、DM間隔内、カットDM間隔内なので、カット+カラーDMを発行する。
11	カラー カット	7 23	カラー カット	カットとカラーの間隔が16日で、DM間隔内、カットDM間隔外なので、カットDMを発行する。16日後にカットDMを発行する。
12	バーマ カラー	7 7	バーマ+カラー 削除	バーマとカラーが同日発行の場合は、バーマDMにカラーを加え、バーマ+カラーDMを発行する。
13	バーマ カラー	7 13	バーマ+カラー 削除	バーマとカラーの間隔が6日で、DM間隔内、バーマDM間隔内なので、バーマ+カラーDMを発行する。
14	バーマ カラー	7 23	バーマ カラー	バーマとカラーの間隔が16日で、DM間隔内、バーマDM間隔外なので、バーマDMを発行する。16日後にバーマDMを発行する。
15	カラー バーマ	7 13	削除 バーマ+カラー	バーマとカラーの間隔が6日で、DM間隔内、バーマDM間隔内なので、6日後にバーマ+カラーDMを発行する。
16	カラー バーマ	7 23	カラー バーマ	バーマとカラーの間隔が16日で、DM間隔内、バーマDM間隔外なので、バーマDMを発行する。16日後にバーマDMを発行する。
17	カット バーマ カラー	7 7 7	削除 バーマ+カラー 削除	カットとバーマとカラーが、同日発行の場合は、バーマDMにカラーを加え、バーマ+カラーDMを発行する。
18	カット バーマ カラー	7 10 14	削除 バーマ+カラー 削除	カットとバーマの間隔が3日で、DM間隔内でなので、カットDMを削除する。バーマとカラーの間隔が4日で、DM間隔内、バーマDM間隔内なので、3日後にバーマ+カラーDMを発行する。
19	カット バーマ カラー	7 10 21	削除 バーマ カラー	カットとバーマの間隔が3日で、DM間隔内でなので、カットDMを削除する。バーマとカラーの間隔が11日で、DM間隔内、バーマDM間隔外なので、3日後にバーマDMを発行する。11日後にバーマDMを発行する。
20	カット カラー バーマ	7 11 13	削除 削除 バーマ+カラー	カットとカラーの間隔が4日で、DM間隔内、バーマDM間隔内なので、カット+カラーDMとし、カラーとバーマの間隔が2日で、DM間隔内、バーマDM間隔内なので、カット+カラーDMを削除し、6日後にバーマ+カラーDMを発行する。

【図15】

21	カット カラー バーマ	7 10 21	削除 カット+カラー バーマ	カットとがーの間隔が3日で、DM間隔内、がーDM間隔内なので、カット+DMとし、がーとバーマの間隔が11日で、DM間隔内、がーDM間隔外なので、3日後にカット+がー、14日後にバーマDMを発行する。
22	バーマ カット カラー	7 12 13	バーマ+カラー 削除 削除	バーマとカットの間隔が5日で、DM間隔内なので、カットDMを削除し、バーマとがーの間隔が6日で、DM間隔内、がーDM間隔内なので、バーマ+がーDMを発行する。
23	バーマ カット カラー	7 22 25	バーマ 削除 カラー	バーマとカットの間隔が15日で、DM間隔内なので、カットDMを削除し、バーマとがーの間隔が18日で、DM間隔内、がーDM間隔外なので、バーマDMを発行する。18日後にがーDMを発行する。
24	バーマ カラー カット	7 12 14	バーマ+カラー 削除 削除	バーマとがーの間隔が5日で、DM間隔内、がーDM間隔内なので、バーマ+がーDMとし、バーマとカットの間隔が7日で、DM間隔内での、カットDMを削除する。バーマ+がーDMを発行する。
25	バーマ カラー カット	7 22 25	バーマ カラー 削除	バーマとがーの間隔が15日で、DM間隔内、がーDM間隔外なので、バーマDMとし、バーマとカットの間隔が18日なのでカットDMを削除する。15日後にがーDMを発行する。
26	バーマ カラー カット	7 25 30	バーマ カット+カラー 削除	バーマとがーの間隔が18日で、DM間隔内、がーDM間隔外なので、バーマDMとし、がーとカットの間隔がDM間隔内、がーDM間隔内なので、18日後にカット+がーDMを発行する。
27	カラー カット バーマ	7 12 16	削除 削除 バーマ+カラー	がーとカットの間隔が5日で、DM間隔内、がーDM間隔内なので、カット+がーDMとし、がーとバーマの間隔が9日で、DM間隔内、がーDM間隔内なので、カット+がーDMを削除し、9日後にバーマ+がーDMを発行する。
28	カラー カット バーマ	7 12 20	カット+カラー 削除 バーマ	がーとカットの間隔が5日で、DM間隔内、がーDM間隔内なので、カット+がーDMとし、がーとバーマの間隔が13日で、DM間隔内、がーDM間隔外なので、カット+がーDMを発行し、13日後にバーマDMを発行する。
29	カラー カット バーマ	7 20 25	カラー 削除 バーマ	がーとカットの間隔が13日で、DM間隔内、がーDM間隔外なので、がーDMとし、カットとバーマの間隔が5日で、DM間隔内での18日後にバーマDMを発行する。
30	カラー バーマ カット	7 12 16	削除 バーマ+カラー 削除	がーとバーマの間隔が5日で、DM間隔内、がーDM間隔内なので、バーマ+がーDMとし、バーマとカットの間隔が4日で、DM間隔内なので、カットDMを削除し、5日後にバーマ+がーDMを発行する。
31	カラー バーマ カット	7 22 23	がー バーマ 削除	がーとバーマの間隔が15日で、DM間隔内、がーDM間隔外なので、がーDMとし、バーマとカットの間隔が1日で、DM間隔内なので、カットDMを削除し、15日後にバーマDMを発行する。

【図16】

WOOLN

DM発行者一覧

担当者名	DM種類	会員番号	お客様氏名	電話番号	発行
1					□
2					□
3					□
4					□
5					□
6					□
7					□
8					□
9					□
10					□
11					□
12					□

DM発行

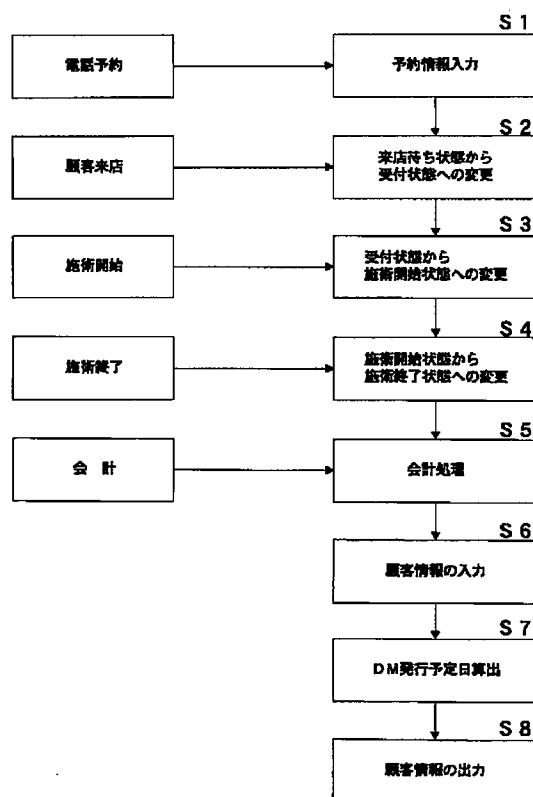
DMを発行する  DM内容 いつもお世話になっている。  
担当の仙です。 OK キャンセル

発行日 2000/9/21 ▼

一覧印刷 印刷 キャンセル

32 33

【図17】



【図18】

